

# 長良川 アンデパンダン



一九六五年、岐阜に何が起こったか？

チコラク vol.1

「長良川アンデパンダン - 1965年、岐阜に何が起こったか？」

日時：2018年 7月1日(日)

17:00-19:00 (開場 16:30)

会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス  
かんがえるスタジオ

講師：高橋綾子 (名古屋芸術大学教授)

ゲスト：吉成信夫 (岐阜市立図書館長)

参加費：500円

定員：50名

主催：articulation (アーティキュレーション)

後援：岐阜市 岐阜市教育委員会

協力：GALLERY CAPTION

お問合せ：アーティキュレーション

info.articulation@gmail.com 090-8186-7790

<https://www.facebook.com/articulation01/>



表：  
「グループ〈位〉」による「穴」制作風景  
河川龍夫をはじめとする関西の若手作家9名によるグループ〈位〉は、川原に穴を延々と掘りつづけ、埋める「穴」を発表した。

左：  
「現代美術の祭典  
アンデパンダン・アート・フェスティバル 第二会場」

長良川河畔、岐阜市／1965年  
写真提供：池水慶一氏

1965年夏、長良川河畔を中心に開催された「現代美術の祭典 アンデパンダン・アート・フェスティバル」、通称「長良川アンパン」は、「読売アンデパンダン展」に端を発し、中濃病院副院長でもあった西尾一三が率いる前衛芸術家集団「VAVA」が中心となって企画運営されました。池水慶一、河川龍夫、松澤宥、秋山祐徳太子ら、日本を代表する現代美術家が多数参加し、昨今の野外展示、アートイベントの先駆け的ともいえるこの試みは、今日の岐阜の美術、また市民や地域に、どのような影響を与えたのでしょうか。長年「長良川アンデパンダン」について調査、研究をつづけている高橋綾子氏（名古屋芸術大学教授）にその経緯をうかがうとともに、後半はゲストに吉成信夫氏（岐阜市立図書館長）をおむかえし、1965年、岐阜に何が起こったのか、お話しいたします。

【アクセス】

みんなの森 ギブメディアコスモス  
(岐阜市立中央図書館)  
岐阜県岐阜市司町40番地5  
TEL 058-265-4101

徒歩：  
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅より約25分

バス：  
「メディアコスモス前」バス停下車すぐ  
「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ  
「メディアコスモス・鶯谷高校口」バス降り徒歩3分

車：  
有料駐車場 約300台 (30分/100円)

